

ま え が き

今日、経済や財政、行政など、社会の様々な分野において、国を挙げての構造改革が進められる中、教育の分野においても、これまでの教育の成果を踏まえつつ、「切磋琢磨しながら新しい時代を切り拓く、心豊かでたくましい日本人の育成」を目指し、教育改革が着実に推進されております。特に、初等中等教育については、「確かな学力」を育成し、「生きる力」を育む学習指導要領のねらいの一層の実現を図るため、学習指導要領の一部改正や教育課程の実施状況を把握するための調査等が実施されているほか、中央教育審議会において、昨年12月に公表された国際的な学習到達度調査の結果等を踏まえながら、様々な課題に対応する具体的な方策の検討が行われているところです。

北海道教育委員会では、平成11年度から平成14年度までに実施した「教育課程研究協議会」や平成15年度から実施している「教育課程改善協議会」などを通して、学習指導要領の趣旨の徹底や内容の理解が図られるよう努めてきたところですが、各学校において、特色ある教育課程の編成・実施がなされ、「確かな学力」や「豊かな心」の育成など、「生きる力」を育む教育が一層充実されるよう期待するものです。

この「手引」は、そのための一つの資料として作成したのですが、今年度においては、各種学力調査によって明らかになった課題等について扱うとともに、各教科において、思考力、判断力、表現力等を育成する学習指導や、生徒の学ぶ意欲を高める評価方法等について具体的な事例を示し、日常の教育活動の参考となるよう配慮したところであります。

本手引の作成に当たり、お忙しい中、御協力いただいた方々に厚くお礼を申し上げますとともに、この冊子が各学校における校内研修や様々な機会に十分活用されるよう願っております。

平成17年10月

北海道教育庁生涯学習部高校教育課長

穂積邦彦